

ここがいちばん

本庄工業

50年先を買ってください。  
長い目で見ればきっと満足されます



上2点/片流れ屋根の建物は南からの陽光をたっぷり取り込むつくり。吹き抜けを通して光と風、冬のストーブの暖気が家中に回り、家族の声も聞こえる。下右/木製の玄関戸は外光が入るガラスの格子戸に。下左/子供室とロフト。

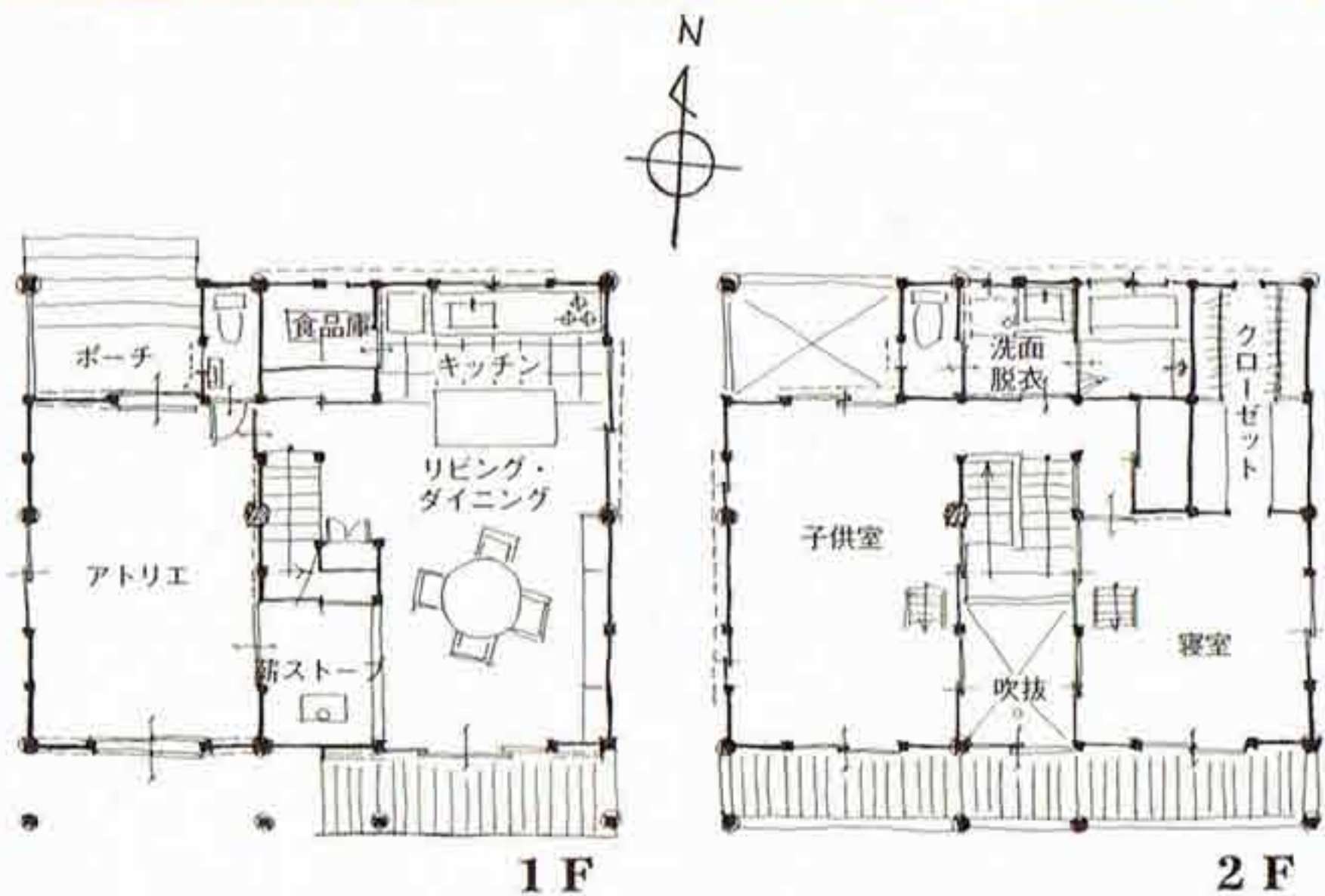
左/スタッフ、職人さんたちと記念撮影。中央が山本真至さん、純子さん夫妻と長女の歩ちゃん、次女の蛍ちゃん。下4点右から本庄工業の中川貴雅専務、建具職人の谷口大輔さん、荒壁職人の宮崎光さん、本庄工業の現場監督、武藤隆裕さん。



本庄工業 山本邸 Data

所在地: 岐阜県岐阜市  
家族構成: 夫婦+子ども2人  
敷地面積: 295.00㎡  
延床面積: 118.42㎡  
(1階 61.28㎡ 2階 57.14㎡)  
ロフト 13.25㎡  
竣工: 2009年2月 (工期2008年9月~2009年2月)  
設計・施工: 本庄工業(株)  
TEL 058-271-6527

主な外部仕上げ: 屋根/ガルバリウム鋼板葺き 軒天井/杉野地板 (厚30mm、岐阜県産材) 外壁/1階 杉板 (オスモ塗り)、2階 そとん壁塗り  
主な内部仕上げ: 天井/杉野地板現し (厚30mm)、Jパネル (ともに岐阜県産材) 壁/竹小舞下地荒壁裏返し塗り、中塗りの上漆喰塗り 床/檜板 (節あり) 蜜蝋ワックス塗り  
工費(税込): 2500万円 (建築2250万円、設備250万円)



上/「森のすみか」展示場では、住まいの勉強会、住まいのメンテナンス教室のほかに、地域のコミュニティの場としてコンサートや個展も開催。右上/薪ストーブのイベントで手づくりピザをつくる親子。右下/「山の見学会」の様子。



建具の調整や木工を行う谷口さん(右、中)と、竹小舞に土を塗り込めて荒壁をつくる宮崎さん(左)。

私たち本庄工業は、住まいを流行の家電製品や自動車のような商品として考えてはいません。見た目が格好いい外観や便利で快適な設備よりも、もっと大切なことがあります。それは「何十年の間、住む人の暮らしに合わせて変化する生きた空間」であること。そのため、私たちは「50年先を買ってください」とお客さまにお願いしています。

昭和33年に材木店・製材業からスタートした当社は、木を生かした住宅を特徴としています。50年以上はかかって生長した木を使うのだから、それ以上住み続けられる家をつくろう。そう考えて長持ちする構造、設備、仕様、間取りを取り入れ、長期間にわたるホームサービス体制を整えています。

こうした家づくりの考え方を形にしたのが、モデルハウス「森のすみか」です。地域の材をふんだんに使った木の家は、太い柱と大きな梁をそのまま見せた真壁づくり。土間のある田の字型のシンプルな間取りは、家族構成が変わっても対応できる大らかな空間をつくり出します。光や風の取り入れ方を考えた設計により、できるだけエアコンに頼らない暮らしができること

もポイント。快適さをもたらす設備といえば、薪ストーブくらいのものでしょう。

また、「森のすみか」の外壁はすべて「荒壁」による工法。竹小舞を掻いて藁を練り込んだ土を塗り固める、手間ひまかけたつくり方です。荒壁にはすぐれた調湿効果や断熱蓄熱性能、防火性能があり、自然の材料でつくられるために建設時のエネルギー消費が少なく、廃棄時も土に還ります。実際に住んだ方からは、「夏場に帰宅しても部屋に熱気がこもらない」「押入がジメジメしない」と好評。工事ではお客さま自身による土壁塗りにぜひ挑戦してみてください。

手仕事を大切にしている当社では、木製建具の仕様を建具職人と相談して決めることもできます。お住まいにふさわしい建具のデザインを一緒に考えるのも、家づくりの楽しみといえるでしょう。

お客さまとご縁を結びたいと、年2回の木工教室や木の机づくりなどのイベントも開催しています。岐阜市北島の「森のすみか」展示場にも、ぜひお越しください。